

## 資料4 都道府県等アンケート

### 【目的】

自然環境基礎調査成果の活用の実態を把握するため、以下の2点について、全都道府県、主要な都道府県立図書館、環境省自然保護事務所にアンケートを行ったもの。

### 【アンケート項目及び意図】

- ・ 成果物である報告書等の保管状況

保管状況を確認することにより、報告書活用の現状を知る。

- ・ 都道府県施策への活用状況

特に都道府県版レッドデータブックの作成に当たっての活用状況を聞くとともにその他の施策への活用状況について確認することにより、データのニーズを知る。

- ・ 都道府県委託調査に対する意識、実施体制

都道府県委託調査の意義、調査体制について聞くことにより、今後の都道府県委託調査の効率的、効果的实施に資する。

### 【アンケート送付数及び回答数】

	送付数	有効回答数	回答率
都道府県担当課	47	42	89%
都道府県立図書館	62	50	81%
自然保護事務所	11	11	100%
	120	103	86%

### 【アンケート用紙】

次ページ以降のとおり。

## アンケートの記入のしかた

このアンケートでは、つぎの3つのことについて、お尋ねします。

1. 自然環境保全基礎調査の報告書等の保管状況について
2. 動物分布情報等の利用状況について
3. 自然環境保全基礎調査(委託調査)の調査体制について

1. は、都道府県立図書館、都道府県自然保護担当課、自然保護事務所にお尋ねしています。2. 及び3. は、都道府県自然保護担当課だけにお尋ねしています。

アンケートは、以下に従ってご記入願います。

### 1. 自然環境保全基礎調査の報告書等の保管状況について

「報告書等保管状況記入用紙」をご利用ください。この用紙には、第4回基礎調査までの報告書および地図類が挙げられています。貴館・課・事務所で保管されている報告書等をご確認いただき、用紙にご記入ください。

- \*平成12年12月現在で、確実にあるものだけを報告してください。
- \*都道府県別報告書や地図類は、貴都道府県のものだけでも構いません。
- \*課内に保管されていなくても、定められた場所にまとまって確実に保管されている場合は、チェックマークを記入してください。

### 2. 動物分布情報等の利用状況について

「動物分布情報等利用状況記入用紙」をご利用ください。ここでは、以下の2つについてお尋ねしています。

- I 「動物分布調査」の成果と都道府県別レッドデータブックについて
- II 上記以外の自然環境保全基礎調査成果の利用状況について

- \* I については、該当する項目に○をつけてください。「その他」に該当する場合は、内容を簡潔に記入してください。
- \* II の「利用方法」は、基本的に自由記述ですが、簡潔に記入してください。

### 3. 自然環境保全基礎調査(都道府県委託調査)の調査体制について

「自然環境保全基礎調査(都道府県委託調査)の調査体制記入用紙」をご利用下さい。ここでは都道府県委託調査の実施体制等についてお尋ねしています。該当する項目に○を、選択式ではない項目は必要事項を記入して下さい。

---

#### ●アンケートの返送

アンケートは、同封の返信用封筒に入れ、平成13年1月15日(月)までに返送願います。

ご協力、よろしくお願い申し上げます。

以上

## ■報告書等保管状況記入用紙

- 貴館・課・事務所で保管が確認された報告書等について、最右欄にチェック (✓) してください。  
 ○都道府県別報告書や地図類は、貴都道府県のものだけを保管している場合もチェックしてください。

### <第1回自然環境保全基礎調査>

調査項目	報告書等成果物	発行年度
自然度調査	●現存植生図(1/200,000)(都道府県別・538面)	S49~50
	●植生自然度図(1/200,000)(都道府県別・53面)	S49~50
すぐれた自然調査	●すぐれた自然図(1/200,000)(都道府県別・53面)	S49~50
環境寄与度調査	●自然環境保全調査報告書(自然環境改変状況調査)	S50
総合とりまとめ	●自然環境保全調査報告書(第1回緑の国勢調査)	S50

### <第2回自然環境保全基礎調査>

調査項目	報告書等成果物	発行年度
植生調査	●現存植生図(1/50,000)(608面)	S54・55
	●植生調査報告書(都道府県別・45冊)	S54
	●植生調査報告書(全国版)	S55
特定植物群落調査	●特定植物群落調査報告書(都道府県版・47冊)	S53
	●特定植物群落調査報告書(全国版)	S55
動物分布調査	●動物分布調査報告書(哺乳類)(都道府県別・47冊)	S54
	●動物分布調査報告書(哺乳類)(全国版)	S54
	●動物分布調査報告書(哺乳類)(全国版その2)	S55
	●動物分布調査報告書(鳥類)(全国版)	S54
	●動物分布調査報告書(両生類・は虫類)(都道府県別・47冊)	S53
	●動物分布調査報告書(両生類・は虫類)(全国版)	S53
	●動物分布調査報告書(両生類・は虫類)(全国版その2)	S55
	●動物分布調査報告書(淡水魚類)(都道府県別・47冊)	S53
	●動物分布調査報告書(淡水魚類)(全国版)	S55
	●動物分布調査報告書(昆虫類)(都道府県別・47冊)	S54
	●動物分布調査報告書(昆虫類)(全国版)	S55
湖沼調査	●湖沼調査報告書(都道府県別・47冊)	S54
	●湖沼調査報告書(全国版)	S55
河川調査	●河川調査報告書(都道府県別・47冊)	S54
	●河川調査報告書(全国版)	S55
海域調査	●干潟・藻場・サンゴ礁分布調査報告書(都道府県版・39冊)	S53
	●海域環境調査報告書(都道府県別・39冊)	S53
	●海域調査報告書 海岸調査、海域環境調査、干潟・藻場・サンゴ礁分布調査(全国版)	S53
	●海域生物調査報告書(都道府県別・39冊)	S53

調査項目	報告書等成果物	発行年度
海域調査	●海域生物調査報告書(全国版)	S53
	●海域生物調査報告書(調査地区詳細垂直分布図)(全国版)	S53
表土改変状況調査	●表土改変状況調査報告書	S54
	●表土改変状況調査メッシュ図	S54
総合とりまとめ	●動植物分布図(1/200,000)(都道府県別・53面)	S55
	●日本の自然環境(通称アトラス)	S56
	●自然環境保全基礎調査報告書(緑の国勢調査)	S57
	●自然環境保全基礎調査報告書(緑の国勢調査・資料編)	S57

<第3回自然環境保全基礎調査>

調査項目	報告書等成果物	発行年度
植生調査	●現存植生図(1/50,000)(685面)	S59~63
	●植生調査報告書(都道府県別・44冊)	S61~62
	●植生調査報告書(全国版)	S62
特定植物群落調査	●特定植物群落追加・追跡調査報告書(都道府県別・47冊)	S62
	●特定植物群落生育状況調査報告書(都道府県別・47冊)	S62
	●特定植物群落調査報告書(全国版)	S62
動植物分布調査	(環境指標種調査) ●小冊子「生きもの地図ができました。」	S60
	(全種調査) ●動植物分布調査報告書(分類群別・9分冊)	S62
自然景観資源調査	●自然景観資源調査報告書(都道府県別・47冊)	S63
	●自然景観資源調査報告書(全国版)	S63
湖沼調査	●湖沼調査報告書(地方別・7分冊)	S61
	●湖沼調査報告書(全国版)	S61
河川調査	●河川調査報告書(地方別・7分冊)	S61
	●河川調査報告書(全国版)	S61
海岸調査	●海岸調査の結果(資料)	S60
海域生物環境調査	●海域生物環境調査報告書(都道府県別・39冊)	S62
	●海域生物環境調査報告書(全国版)	S62
総合とりまとめ	●自然環境保全基礎調査総合解析報告書(総括編)	S63
	●自然環境保全基礎調査総合解析報告書(解析編)	S63
	●自然環境保全基礎調査磁気データファイルの概要	S63
	●自然環境情報図(1/200,000)(都道府県別・53面)	S63
その他	●植物目録(上)(中)(下)	S62
	●過去における鳥獣分布調査について(資料)	S62

<第4回自然環境保全基礎調査>

調査項目	報告書等成果物	発行年度
植生調査	●現存植生図(1/2,500,000)	H6
	●植生自然度図(1/2,500,000)	H6
	●植生調査報告書(全国版)	H6
	●植生改変図(1293面)	H6
巨樹・巨木林調査	●巨樹・巨木林調査報告書(地方別・8分冊)	H3
	●巨樹・巨木林調査報告書(全国版)	H2
環境指標種調査	●小冊子「1990年身近な生きもの調査 調査結果」	H4
	●海の生きもの地図	H3
動物分布調査	●動植物分布調査報告書(哺乳類)	H5
	●動植物分布調査報告書(鳥類)	H5
	●動植物分布調査報告書(両生類・爬虫類)	H5
	●動植物分布調査報告書(淡水魚類)	H5
	●動植物分布調査報告書(陸産及び淡水産貝類)	H5
	●動植物分布調査報告書(陸産及び淡水産貝類 別冊・分布図)	H5
	●動植物分布調査報告書(昆虫(チョウ)類)	H5
	●動植物分布調査報告書(昆虫(ガ)類)	H5
	●動植物分布調査報告書(昆虫(トンボ)類)	H5
	●動植物分布調査報告書(昆虫(セミ及び甲虫)類)	H5
河川調査	●河川調査報告書(地方別・8分冊)	H6
	●河川調査報告書(全国版)	H6
湖沼調査	●湖沼調査報告書(地方別・7分冊)	H5
	●湖沼調査報告書(全国版)	H5
	●湖沼調査報告書(全国版・資料集)	H5
海岸調査	●海岸調査報告書(全国版)	H6
海域生物環境調査	●海域生物環境調査報告書(干潟)	H6
	●海域生物環境調査報告書(藻場)	H6
	●海域生物環境調査報告書(サンゴ礁)	H6
	●海域生物環境調査 サンゴ礁分布図(1/100,000)	H8
生態系総合モニタリング調査	●生態系総合モニタリング調査報告書	H6
総合とりまとめ	●自然環境情報図(1/200,000)	H8
	●自然環境保全基礎調査総合解析報告書(総括編)	H7
	●自然環境保全基礎調査総合解析報告書(解析編)	H7
	●自然環境保全基礎調査磁気データファイルの概要	H7
その他	●植物目録 修正版(上・下) 分類順	H6
	●植物目録 修正版(上・下) 和名50音順	H6

## ■動物分布情報等利用状況記入用紙

I 自然環境保全基礎調査（生物多様性調査を含む。）のなかの「動物分布調査」の成果の利用状況を、とくに、都道府県別レッドデータブック（RDB）との関連で、お尋ねします。

1. 都道府県版のRDBを作成していますか？

- ①作成した。
- ②作成中である。
- ③計画・準備中である。
- ④作成する予定はない。

2. 前記で①～③に該当する方にお尋ねします。

RDB作成に際し、基礎調査（動物分布調査）の成果を利用しましたか。

- ①利用した。（「利用する予定」を含む）
- ②利用しなかった。（「利用しない予定」を含む）

3. 前記で①に該当した方にお尋ねします。

どのように利用、又は利用する予定ですか。該当するものすべてにお答えください。

- ①都道府県内の生息動物種リストを作成する際に利用した。
- ②和名・学名を決定する際の参考とした。
- ③個々の種の具体的分布情報(メッシュコード)を利用し分布図を作成した。
- ④個々の種の具体的分布情報(メッシュコード)を利用し、種のランク評価に利用した。
- ⑤その他 ( \_\_\_\_\_ )

4. 前記2. で②(利用しなかった)に該当する方にお尋ねします。

利用しなかった、又は利用しない予定の理由は何ですか。該当するものすべてにお答えください。

- ①独自に収集した資料、データで十分だった。
- ②利用に当たっての申請等、手続きが面倒だった。
- ③正確性に欠けた。
- ④データ量が不十分だった。
- ⑤データが古かった。
- ⑥使いやすい形(ファイル・フォーマット等)になっていなかった。
- ⑦その他 ( \_\_\_\_\_ )



■自然環境保全基礎調査(都道府県委託調査)の調査体制記入用紙

貴都道府県における基礎調査委託調査の意義、調査体制の実態及び問題点、今後の展望についてお聞きします。(過去5年間における状況について御回答下さい)

\*過去5年間の都道府県委託調査

生物多様性調査、特定植物群落調査、河川調査、海棲動物調査、海辺調査

1. 「委託調査の意義」についてお尋ねします。

都道府県委託調査について貴都道府県のお考えをお聞かせ下さい。

- ① 県の施策とも関連して有意義
- ② 有意義とは言えない
- ③ どちらとも言えない

2. 貴都道府県における委託調査の調査体制についてお尋ねします。

再委託の有無について該当する調査名に○を付けて下さい。(複数回答可)

●再委託をした調査名

(1. 生物多様性調査、2. 特定植物群落調査、3. 河川調査、4. 海棲動物調査、5. 海辺調査)

●再委託をしなかった調査名

(1. 生物多様性調査、2. 特定植物群落調査、3. 河川調査、4. 海棲動物調査、5. 海辺調査)

再委託されている場合、再委託先として該当するものに○を付けて下さい。(複数回答可)

- ① 任意団体
- ② 公益法人
- ③ 営利法人
- ④ その他 ( \_\_\_\_\_ )

3. 前記2で「再委託している」に該当した方にお尋ねします。

再委託している、又はしなければならない理由は何ですか。該当するものすべてにお答え下さい。

- ① 必要な専門家を擁する団体又は法人がある
- ② 必要な人材を擁する団体又は法人を新たに作った
- ③ その他 ( \_\_\_\_\_ )

4. 前記2で「再委託していない」に該当した方にお尋ねします。

再委託をしない、又はできない理由は何ですか。該当するものすべてにお答え下さい。

- ① 適当な団体又は法人が存在しない
- ② 都道府県職員(調査研究機関の職員を含む)で実施可能であった
- ③ その他 ( \_\_\_\_\_ )



5. 委託先の事務等について該当するものに○を付して下さい。

- ①経理等の事務を県庁職員が行っている
- ②経理事務を含めて委託先で行っている

6. 特記事項

(1) 限られた予算で効率的に調査を実施する上で、特に苦心、工夫をされている点があればお教え下さい。

例：特徴ある団体を作った、県単独費による調査とタイアップする、等

(2) 委託調査を円滑に進める上でぜひ解決しなければならない点があればお教え下さい。

例：予算が足りない（営利法人に再委託ができない）